

# 令和7年度 蓮根おとしより相談センター 事業計画書

## 1 組織・運営体制

### ○重点事業・目標の設定

目 標	世帯全体が抱える問題が多様化、複雑化している。対人援助技術の高い専門性を職員全体で高めていくとともに地域との良好な関係づくりを推進する。	
<b>重点事業</b> ※実現可能な範囲であれば複数チェック可 ※チェックした事業は具体的な方針を簡潔に記載	<input checked="" type="checkbox"/> 総合相談支援事業	複雑化するケースへの対応
	<input type="checkbox"/> 権利擁護事業	
	<input type="checkbox"/> 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	
	<input type="checkbox"/> 第1号介護予防支援事業 (介護予防ケアマネジメント)	
	<input type="checkbox"/> 地域ケア会議推進事業	
	<input type="checkbox"/> 在宅医療・介護連携推進事業	
	<input type="checkbox"/> 生活支援体制整備事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症総合支援事業	声かけ訓練等認知症サポーター支援の充実や認知症月間の周知
	<input type="checkbox"/> 介護予防・生活支援サービス事業	
	<input type="checkbox"/> 一般介護予防事業	

### ○組織・運営体制における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
・職員の異動等による、地域を熟知している業務経験豊富な人材の不足	計画的な研修への参加、包括内部研修や複数でのケース対応を行いチームアプローチの実施を図る。

○研修計画 ※個人情報保護措置の研修については必須記載※ (おとしより保健福祉センターが実施・申し込み受付した研修を除く)

会議名	主催	開催回数(開催時期)	内容	備考
個人情報保護措置研修	包括主催	1回(5月頃)	個人情報保護措置に係る研修	
成年後見制度研修	外部主催	1回(9月頃)	その他(備考に記載)	権利擁護に係る研修
接遇・マナー研修	法人主催	1回(11月頃)	接遇・マナー研修	

○センターの周知計画及び夜間・早朝や休日等の緊急時における連絡体制

センター周知計画	<input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの配布 <input checked="" type="checkbox"/> 出前講座などの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> SNS・HPなどの活用 <input type="checkbox"/> その他( )
緊急時における連絡体制 (センター内)	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の連絡網の策定 <input type="checkbox"/> その他( )
緊急時における連絡先・窓口の周知方法 (住民向け)	<input type="checkbox"/> 自動再生アナウンスによる緊急連絡先の案内 <input type="checkbox"/> 輪番制による携帯電話への転送 <input type="checkbox"/> 留守番電話の録音案件への折り返し対応 <input type="checkbox"/> 併設施設への電話転送による対応 <input checked="" type="checkbox"/> その他(警備員対応後管理者又は担当者へ連絡・警備員不在曜日は当番制で携帯電話の転送を行う)

○苦情対応体制の整備

Q. 苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。

☒ 記録している (⇒ 記録の管理方法: 苦情相談記録票に記載、記録をファイリングし鍵付き保管庫で管理保管している)

☐ 記録していない

○プライバシー確保のための環境整備

- ☒ 個人情報の取り扱いについて区の契約・法人の規定などにに基づき対応している。  
☒ 相談スペースの確保を行い、相談しやすい環境を整備している。  
☒ PC端末の画面が関係者以外に見えないよう配置への配慮を行っている。  
☐ その他（ ）

## 2 個別業務

### (1) 包括的支援事業

#### ① 総合相談支援事業

○総合相談支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
多世帯、複雑化した相談が多く、地域の多職種との連携が不可欠である。	・他機関の機能を熟知し、円滑な連携体制を構築していく。

○地域包括支援ネットワーク構築

会議体	開催回数（開催時期）	内容（複数チェック可）	備考
地区町会長会議 （又は地域情報連絡会）	2回（9月・2月）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
相談協力員連絡会	1回	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> 事例検討会 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> その他（ ）	舟渡おとしより相談センターと共催
地区民生・児童委員協議会	10回（予定開催表による）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

<p>出前講座等</p> <p>※主にネットワーク構築を目的とした講座を記載</p> <p>※個別の各事業に関連するものは、該当事業の欄に記載</p>	5 回	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 講演	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 連携依頼	(開催先団体名) 支え合い会議
	1 回	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 講演	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼	<input type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 連携依頼	(開催先団体名) 志村ふれあい館利用者
		<input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 講演	<input type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> その他（	<input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 連携依頼	<input type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 連携依頼	(開催先団体名)

○地域における関係機関・関係者のネットワークの管理

把握情報	<input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員 <input type="checkbox"/> その他（
管理方法	<input checked="" type="checkbox"/> マップ（紙） <input type="checkbox"/> マップ（データ） <input checked="" type="checkbox"/> リスト（紙） <input checked="" type="checkbox"/> リスト（データ） <input type="checkbox"/> その他（
地域特性の把握内容	<p>都営住宅が多く高齢者数、高齢化率が高い。</p> <p>地域支え合い会議が活発で住民同士の顔の見える関係が保たれている。</p> <p>荒川、新河岸川が近くに流れ、水害に対する防災意識が高い地区である。</p>

○高齢者見守り事業

ひとりぐらし高齢者 見守り対象者名簿	登録者の状況把握目標	把握方法	相談協力員との連携方法・時期等
	(新規) 100%	訪問を行い、状況の把握、緊急連絡先の変更の有無などを確認、今後の支援に向けた関係性を構築する。	定期的に参加している民生・児童委員協議会等にて情報の共有や、支援方法などの連携を行う。
	(新規以外) 98%	介護支援専門員がいる方に関しては、担当の介護支援専門員に確認する。それ以外は電話での状況の把握を行い場合によっては熱中症注意喚起なども兼ねて訪問する。	

高齢者見守り キーホルダー	登録勧奨、普及・啓発方法
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域イベント参加 <input checked="" type="checkbox"/> シニアクラブ・サロン等の訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 個別訪問時の情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット作製・配布 <input checked="" type="checkbox"/> センター主催事業実施時における広報 <input checked="" type="checkbox"/> センターだよりの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 民生委員や関係機関との連携 <input type="checkbox"/> その他（ ）

## ② 権利擁護事業

○権利擁護事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な問題を抱えた事例や虐待初期事例について、緊急性の判断や対応方針が決めがたい。</li> <li>・成年後見制度利用が必要な事例において、親族の拒否などにより利用に結びつかないことがある。</li> <li>・消費者被害が減らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関連研修に参加するなど職員の専門力向上に努める。</li> <li>・複数対応にするなど、3職種だけではなくセンター内で方針を検討する。</li> <li>・初期段階から関係機関との連携が図れるよう日頃からネットワーク構築を意識して問題解決につながるよう努める。</li> <li>・警察、消費者センター等と連携し、消費者被害の普及啓発に努める。</li> </ul>

○権利擁護事業における実施事業等

会議名	会議種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
事業者交流会	消費者被害・特殊詐欺等の防止・対応	1 回（5 月）	主催（交流会）	
成年後見制度について	成年後見制度利用支援	1 回（後期）	主催（講演会）	

### ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○包括的・継続的ケアマネジメントにおける課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居宅支援事業所の介護支援専門員の異動、退職により、要介護はもとより、要支援の方の受け入れが難しい。</li> <li>・権利意識の高い利用者、強い要望を求める利用者への対応に苦慮している居宅介護支援事業所が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所交流会、主任ケアマネジャーの会などで顔の見える関係づくりを継続し協力関係を築いていく。</li> <li>・居宅介護支援専門員から相談があった場合、適切なアドバイスができるハラスメントに対する知識を身に付けていく。</li> </ul>

○事業者交流会等（包括的・継続的ケアマネジメント支援における会議や研修）の開催計画

会議名	方法	開催回数（開催時期）	テーマ・内容	参加対象	備考
ケアマネカフェ	研修	2回（5月・9月）	社会資源・権利擁護	居宅介護支援事業所 地域関係者	
ケアマネカフェ	事例検討会	1回（11月）	包括又は居宅支援事業所の 困難ケース	居宅支援事業所 関係機関	
志村地区合同事業者交流会	交流会	1回（2月）	医療連携	居宅支援事業所 医療機関 その他関係機関	
主マネの会	研修	1回（10月）	法改正について	主任介護支援専門員	
主マネの会	打ち合わせ会	1回（3月）	来年度の取り組みについて	主任介護支援専門員	

### ④ 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

※「（2）介護予防・日常生活支援総合事業」との関連性が深いため、併せて記載。

## ⑤ 地域ケア会議推進事業

○地域ケア会議の実施における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
・介護支援専門員から相談のあった事項について内容の検討、整理分析を行っているが複雑な相談が多く地域課題としての分析が不十分	・相談事項の内容を分析し、地域課題を整理する。

## ○実施する地域ケア会議

会議名	開催回数（開催時期）	テーマ	備考
ケアマネジメント支援型地域ケア個別会議（小地域ケア会議）	1回（11月）	圏域内の居宅支援事業所が困難を感じる事例より検討する。	
日常生活圏域レベル地域ケア推進会議（地区ネットワーク会議）	1回（9月）	医療と介護の連携について	

※地域ケア会議として位置付けられている「認知症初期集中支援チーム員会議」については、「⑧ 認知症総合支援事業」で記載。

## ⑥ 在宅医療・介護連携推進事業

○在宅医療・介護連携推進事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
地域の医療関係者と介護事業所の顔の見える関係や、協働しやすい環境づくりをしていく必要がある。	・医療と介護の連携をテーマに地区ネットワーク会議を開催する。 ・病院主催の研修会、講演会への積極的な参加。

## ○在宅医療・介護連携推進事業における実施会議等

会議名	開催回数（開催時期）	内容	備考（連携先）
在宅医療ネットワーク懇談会	2回（7月、11月）	参加（講演会）	（連携先団体）

各医療の講演会	2回	参加（講演会）	（連携先団体）
---------	----	---------	---------

## ⑦ 生活支援体制整備事業

第2層協議体との 関わり方について	支え合い会議に定期的に参加し、生活支援コーディネーターや第2層協議体メンバーの後方支援を行うとともに、可能な限り資料作りなども行う。また専門職として地域課題などの情報を共有し、協働して地域の課題解決に向けた取り組みを行っていく。
第2層協議体と専門職 との連携について	生活支援コーディネーターと医療・介護の専門職に、地区ネットワーク会議や当圏域のスポット事業イベントの参加を呼びかけ、顔の見える関係を築いていく。地域の専門職との関わりを具体化していき、地域の活性化を進めていく。

## ⑧ 認知症総合支援事業

○認知症総合支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターとの関わりの場を広げる。</li> <li>・認知症カフェが継続困難になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター通信、あんしん協力店への挨拶、声かけ訓練の参加を促す。</li> <li>・認知症カフェ継続支援を行う。</li> </ul>

○認知症総合支援事業における実施事業・会議等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座	3回以上	主催（講演会）	
認知症カフェ支援	認知症カフェ支援	3回以上	その他（備考に記載）	継続・立ち上げ支援
志村地区家族交流会	認知症家族交流会支援	4回	主催（交流会）	
認知症初期集中支援事業	認知症初期集中支援事業	6回	その他（備考に記載）	事例検討



認知症サポーター通信	認知症サポーターの活動支援	1 回	その他（備考に記載）	通信発行
住民向け講座	認知症予防等の講座開催	2 回	主催（研修会）	
認知症声かけ訓練	認知症サポーターの活動支援	1 回（10 月）	主催（交流会）	
認知症月間イベント	その他	10 日間	その他	蓮根図書館共催

## （２）介護予防・日常生活支援総合事業

### ① 介護予防・生活支援サービス事業      ② 一般介護予防事業

○介護予防・日常生活支援総合事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気力チェックの継続的实施とセルフマネジメントの推進。</li> <li>・短期集中通所サービスの地域、開催期間の問題。</li> <li>・介護予防事業の推進強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気力向上手帳の活用。</li> <li>・事業対象者の把握と支援につながる体制作り。</li> <li>・地域医療、リハビリテーション専門職との連携強化。</li> </ul>

○介護予防・日常生活支援総合事業における実施事業等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
包括内会議	介護予防把握事業	1 回（5 月）	その他（備考に記載）	事業説明
出前講座	介護予防普及啓発事業	1 回（1 1 月）	主催（講演会）	
10 の筋トレグループ支援	地域リハビリテーション活動支援への協力	6 回（偶数月）	その他（備考に記載）	出前講座、元気力測定会
介護予防・プラス講座	地域リハビリテーション活動支援への協力	1 回	その他（備考に記載）	出前講座、元気力測定会